

研究計画概要

助成年度・種別	2025年度 若手研究助成
研究者	今井 聖
所属	琉球大学
研究テーマ	少年院および非行少年の歴史的変化と法務教官の専門性に関する社会学的研究
研究計画概要	<p>本研究の目的は、法務教官へのインタビュー調査を通して、現代の非行少年の特徴を考察するとともに、非行少年への教育を担う法務教官の専門性について考察することである。</p> <p>本研究において主な対象となる法務教官とは、少年院をはじめとする矯正施設において、少年に対する教育をおこなう専門職(法務省専門職員)である。これまでのところ、少年院入院者および入院経験者に対するインタビュー調査にもとづいた社会学的な研究が蓄積されてきたのに対して、法務教官に着目した研究成果は少ない。しかし、非行少年の継続的な減少傾向や、知的・発達面で特性を有する少年の占める割合の増加傾向など、少年の歴史的・社会的な変容が語られるなかで、法務教官に求められてきた・求められている専門性について考察することは、非行少年を包摂する社会を構想していくためにも重要である。</p> <p>本研究では、少年の歴史的な変容や、それに応じた専門性の内実を法務教官らがどのように語るのかに着目するために、インタビュー調査を主な研究方法として採用する。申請者はこれまでも、すでに法務教官へのインタビュー調査を部分的に実施しはじめているため、本研究助成のもとでより本格的な調査を実施し、社会学的な立場からインタビューデータの分析をおこなう。</p>
選考委員からのコメント	<p>非行少年自体、知的・発達面で障害をもった少年の比率が増加するなど、変化した。その変化によって、彼らの教育を担う法務教官に求められる専門性は、どのように変わったのか。この明快な課題の意義が評価された。</p> <p>申請者には学協会誌査読付き論文が5本あり、優れた若手研究者としての評価が確認できる。法務教官の職業的社会化をテーマとする科研費による研究を実施し、また元現法務教官へのインタビュー調査をすでに開始するなど、準備状況が良好である。</p>